

市町村名	プラン計画名	市町村教育委員会のアクションプラン・計画等のまとめ ( 中津 ) 教育事務所		
		目標	行動計画等	H25達成指標
豊後高田市	① 学力向上 アクションプラン	<p>ア 児童・生徒の学力向上に係る目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力調査において、管内全学校全教科で平均値以上</li> <li>・全国学力調査B問題標準化得点で 小国語103、小算数102、中国語103、中数学102以上</li> <li>・低学力層の児童生徒を半減</li> </ul> <p>イ 組織的な課題を解決するための目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マネジメントサイクルを生かした校内研修の充実</li> <li>・学力向上会議及び学校公開開日等の充実</li> <li>指導教諭、学力向上支援教員の活用</li> <li>・学校図書館教育の充実</li> <li>・教育課程協議会の充実</li> </ul>	<p>ア 児童・生徒の学力向上に係る市町村教育委員会や学校における行動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 指導教諭や学力向上支援教員による授業公開等を通じた授業力向上の取組 (指導教諭、学力向上支援教員の公開授業年間5回)</li> <li>2 児童生徒の習熟度に応じた個別指導 (つまづき解消、家庭との連携)</li> <li>3 学校図書館を活用した探求的な授業の推進による思考力・判断力・表現力の向上 (探求的な授業の推進、読書の質の向上)</li> </ol> <p>イ 学力向上に関して抱える組織的な課題を解決するための市町村教育委員会や学校における行動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 管内の組織的な課題解決を進行管理する教務主任会議の実施 (年間3回以上の教務主任会議、教育課程の管理運営、学力向上の取組)</li> <li>2 マネジメントサイクルを生かした校内研修(研究)の在り方の見直し (年間2回以上の校内研究会)</li> <li>3 司書教諭を核とした学校図書館を活用した管内全校指導体制の確立 (探究型授業の推進、学校図書館アドバイザーとの連携)</li> <li>4 指導教諭、学力向上支援教員による活用型授業の普及 (定期的な授業公開、県教委指導主事の指導)</li> <li>5 習熟度別指導を強化するための指導方法の工夫改善加配の活用 (評価規準の明確化、上位層のアップ、低学力層の底上げ)</li> <li>6 小学校教科担任制の実施 (小学校高学年の国語、算数、理科についてモデル校で実施)</li> <li>7 全教科・領域のバランスのとれた教育課程の組織的研究体制の確立 (教科部会の充実)</li> </ol>	<p>○全国学力調査で、全ての教科で全国平均値を超えた学校数 小学校(6/11) 中学校(4/6)</p> <p>○全国学力調査B問題標準化得点 小国101 小算100 中国101 中数100</p> <p>○低学力層(1段階)の児童生徒 小学校4%以下 中学校6%以下</p>
		<p>H26～H27達成指標</p> <p>○全国学力調査で、全ての教科で全国平均値を超えた学校数 H26:小学校(8/11) 中学校(6/6) H27:小学校(11/11) 中学校(6/6)</p> <p>○全国学力調査B問題標準化得点 H26:小国102 小算101 中国102 中数101 H27:小国103 小算102 中国103 中数102</p> <p>○低学力層(1段階)の児童生徒 小中学校ともに2%以下</p>		
	② 体力向上 アクションプラン	<p>ア 児童・生徒の体力向上に係る目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体カテストにおいてH25年度調査全校全国平均以上</li> <li>・運動好きな児童生徒95%</li> </ul> <p>イ 体力向上に関して抱える組織的な課題を解決するための目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上実践事例集等を活用した体育学習の一層の充実</li> <li>・管理職研修や体育主任会を通して、体力向上に対する教員の意識の高揚</li> <li>・体育主任による、体力向上の企画・運営・提案</li> </ul>	<p>ア 児童・生徒の体力向上に係る市町村教育委員会や学校における行動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 体力向上プランの作成 (3月に来年度分を作成)</li> <li>2 体育授業での専門性を生かすために、地域スポーツ人材(地域指導者)の活用 (すべての学校で月1回以上に活用)</li> <li>3 体カアップ推進校によるモデルプランの提示及び授業公開 (学期1回以上)</li> <li>4 「チャレンジおおいた体カアップ」指導者ハンドブック及び体力向上実践事例集の積極的な活用 (適宜)</li> <li>5 休み時間等を活用した体育的活動の推進(トレーニングタイム、サーキットタイム、遊び集会、体育集会、体育行事等の設定(強化月間の設定))</li> <li>6 全校全学年で食育指導の実施 (年間1回以上)</li> <li>7 実践事例集の作成 (平成27年度末)</li> <li>8 トップアスリートを学校へ招聘 (年間5回を予定)</li> </ol> <p>イ 体力向上に関して抱える組織的な課題を解決するための市町村教育委員会や学校における行動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 小中合同体育主任会(1校1実践の共有)の開催 (年間9回以上)</li> <li>2 体カアップ推進校を中心に授業研究の開催 (年間2回以上)</li> <li>3 体育主任を中心とし、体力向上プランに基づく体育授業や体育的行事の工夫改善</li> <li>4 体育専科教員の活用方法の工夫</li> <li>5 保護者や地域と連携した「親子ふれあい活動」や「食育に関する講演会」等の実施 (年間1回以上)</li> <li>6 「チャレンジデー」や「総合型地域スポーツクラブ」「社会体育」への積極的に参加</li> <li>7 体カテストの有効活用 (体力向上プランの見直し)</li> </ol>	<p>○体カテストにおいて全国平均値以上である項目の割合 小80% (77/96) 中62%(30/48)</p> <p>○運動好きな児童生徒の割合 90%以上(小中)</p>
		<p>H26～H27達成指標</p> <p>○体カテストにおいて全国平均値以上である項目の割合 H26 小90%(87/96) 中83%(40/48) H27 小100% 中100%</p> <p>○運動好きな児童生徒の割合 95%以上(小中)</p>		
③ 組織力 向上計画	<p>行動計画等</p> <p>○学校評価 ・新しい学校評価への取組状況を共有するため、校長会や教頭会において交流を図るとともに内容の周知徹底を行う。さらに、4月に教務主任会議を開催し、学校組織の要として機能できるための力量を高める。年間3回以上開催し、取組状況を共有する。 ・組織的な学校評価改善体制を整備するため、主幹教諭や教務主任等主要主任で構成する「学校評価改善委員会」を設置する。</p> <p>○学校管理規則改正 ①主任の任命に係る服務監督権者(市町村教育委員会) ②運営委員会の制度化 ③職員会議の「置くことができる」規定と役割の明確化 規則改正予定 平成25年2月12日(火)施行予定 平成25年4月1日(月)</p> <p>○学校運営体制の充実 ①平成25年3月までに、定例校長会及び定例教頭会において、運営委員会の設置について指導する。運営委員会、職員会議が校務分掌表に適性に位置づけられるように指導する。 平成25年度4月以降、運営委員会の機能状況や、職員会議の在り方についての確認を、全校について行う。 ②校務分掌表に主要主任を明確に位置づける。 ③教務主任などの主要主任についてのそれぞれ担う役割について、学校事情に応じた課題も含め具体的に示すよう指導する。 ④各学校におけるミドルリーダーとして主任を機能させるための学期に2回以上「学校組織ミドルリーダー養成研修」を実施する。 ⑤管理職のリーダーシップのもと、相談体制の整備・充実、学校職員安全衛生連絡協議会を活用した主幹教諭等によるラインケア体制の整備を図る。</p>			
④ 先進的・ 先導的取組	<p>取組内容・行動計画等</p> <p>①市町村教育委員会が指定するモデル校(高田中・高田小・桂陽小・戴星学園)における第三者評価の導入及び拡大 【主幹教諭による第三者評価の計画と実施、改善計画の策定】※初年度準備、次年度から実施</p> <p>②学校運営協議会を活用した地域と連携した組織的な取組の推進方策(戴星学園) 【主幹教諭による学校運営協議会委員との研究計画立案とそのための連絡調整】</p> <p>③学校における組織的な学校評価改善体制を確立させるための学校評価改善委員会の設置 【主幹教諭による学校評価改善委員会の運営】</p> <p>④幼・保・小・中及び高校の連携による組織的取組に対する意識の共有(年2回の幼・保・小連絡協議会・中高連絡協議会の開催) 【主幹教諭による連携会議の運営】</p> <p>⑤市町村教育委員会の指導主事等による管理職・主幹教諭等への学校組織マネジメント研修の実施(年間6回の開催) 【主幹教諭による研修計画の立案及び内容の改善】</p> <p>【組織的な学校運営を担う主幹教諭の活用について】</p> <p>○管理職の補佐として 校長の学校運営に対する考えや思いを共有することで、教職員の学校運営に対する意識が高まる。校長の方針に基づき一定の責任と権限を与え、指示できる体制をとる</p> <p>○教職員組織の活性化の推進役として 各主任や教諭の声の主幹教諭を通して具体的に聞こえるようになり、管理職の学校運営に対する思いや考えを指示できる。また、学年主任と連絡調整することで、意思疎通の機会が充実し、学校全体の協働体制ができる</p> <p>○プロジェクトチームのリーダーとして 学習環境や施設面、行事の運営、生徒指導面等の学校課題を多面的に探り、その課題にどう取り組むかを提案することにより、よりよい学校運営ができる</p>			